

# 2011年8月12日に発生した遠州灘の地震 (Mw5.0)

- プレート境界付近で発生した地震
- 断層傾斜角が40度以上とやや高角であるため、この地震はプレート境界型ではないと考えられる
- 過去にも同地域近傍でプレート境界型ではない同規模の地震が発生していた

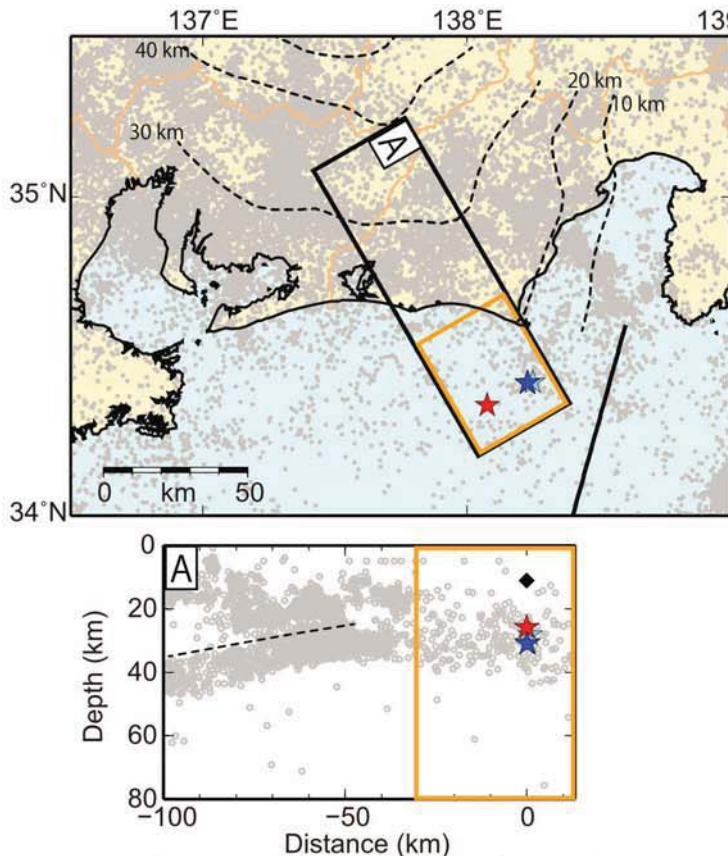


図2. 図1黒枠内の地震断面図。破線はプレート境界[野口, 1996]。ダイヤモンドはF-netのMT解によって決定されたM4以上の地震のセントロイド深さを示す。

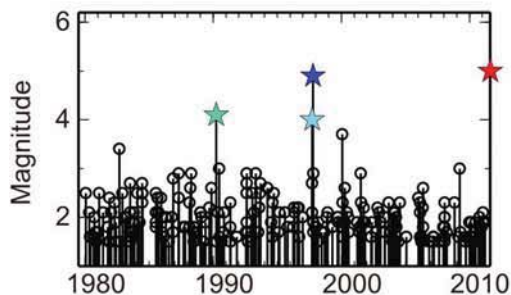


図3. 図1, 2中の橙枠内で発生したM-T図。この領域内で1979年以降、M4以上の地震が4回発生している。

使用データ:  
地震の震源位置、震源時、規模ならびに発震機構解は防災科研による。

図1. 1979年-2011年までのM1.5以上の東海地域の地震活動。震源要素は防災科学技術研究所による関東東海地震観測網(APE)およびHi-netを主に使用して決定されている。破線はプレート境界[野口,1996]。星印は橙枠内で発生したM4以上の地震を示す。星印の色と発震機構解の色はそれぞれ対応している。

